

平成23年/2011

No. 18
野口遵顕彰会

野口 遵

顕彰会だより



ご あ い さ つ

野口遵顕彰会

会長 清 本 英 男

晩秋の候、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は野口遵顕彰会に対しましてご高配・ご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、野口遵顕彰会の本年度事業は計画どおりに実施することができ、『野口賞』の授賞式と校外授業「会社はどんなところ!!」の一部を残すのみとなりました。設立時より継続して実施してきました青少年の科学技術派遣研修事業『ジュニア科学者の翼』は、3月11日の東日本大震災による交通機関への影響や放射能汚染が大きな社会問題となりその実施が懸念されましたが、無事に終えることができ、事業の目的を達成することができました。

また、今回で11回となりました『野口賞』授与事業は応募数8件を数え、審査委員の皆様による厳正な審査の結果、2件のテーマに対して「奨励賞」（賞金50万円）を授与することが決まりました。これを機会にさらに多くの皆様のご応募を期待したいと思います。

早いもので今年も一月余りを残すのみとなりました。向寒の折柄、皆様のご健勝と間もなく迎えます新年が明るく良い年でありますようお祈り申し上げます。野口遵顕彰会としても事業の一層の充実に努めてまいりたいと考えています。

今後とも、皆様方の変わらぬご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成23年11月

副読本縮刷版の配付事業

《「のべおか新興の母 野口 遵」》

中学校副読本「のべおか新興の母野口遵」(冊子)の縮刷版(B6版)を、延岡市、高千穂町、日之影町、門川町(2校)および五ヶ瀬中等教育学校のあわせて27校の2年生全員に、2,000冊を5月に配付しました。今回で7回目の配付となりました。

各中学校では朝の読書の時間を活用するなどして、野口遵翁の科学者として、また、世界的な事業家としての業績や延岡市の発展に多大な功績を残したことなど、生徒の皆さんの理解を深めるのに役立っています。

なお、今回も「延岡市の偉人」(内藤政舉氏、若山牧水氏、後藤勇吉氏)を付録としました。



青少年科学技術派遣研修事業

《第11回『ジュニア科学者の翼』》

科学技術への関心を高め“夢”と“ロマン”を持って21世紀で活躍する人材への成長を期待して、今年も去る7月26日(火)から7月29日(金)の3泊4日の日程で実施しました。

今回も12名の中学生の皆さんを派遣しましたが、関東地区の千葉県立現代産業科学館、野口研究所、国立科学博物館および日本科学未来館を訪問して、最先端の科学技術や医療、情報、環境、自然、宇宙等のフロンティア開発、産業など多岐の分野にわたり研修しました。

8月10日(水)の「報告会」で12名の皆さんは、科学への関心が一層高まったこと、「科学」をより身近に感じるようになったこと、自分の“夢”につながる内容などその成果を力強く発表し、今回の体験を将来に生かしていきたいと報告しました。

新しい科学技術分野を切り開いていく、世界的に高いレベルの日本の科学技術や研究者に触れることができたことは、参加した生徒の皆さんの発想を豊かにし、将来の夢、目標の指針として大いに役立ったことと思います。



今回『ジュニア科学者の翼』に参加した皆さんの中から、野口研究所「学修奨励金」授与者に、五ヶ瀬中等教育学校2年生 荒木藍さんが決まりました(今回で7回目の授与)。荒木さんには、書籍や

教材費の一助として「学修奨励金」が、高校入学時から高校在学の3年間、毎年10万円が野口研究所から授与されます。



『ジュニア科学者の翼』に参加した生徒および学校名（男子7名：女子5名）

氏 名	学 校・学 年	氏 名	学 校・学 年
矢 野 優理恵	恒富中学校2年生	小 野 祐一郎	北方中学校2年生
石 本 竜 聖	岡富中学校2年生	田 崎 悠 大	尚学館中学校2年生
矢 野 裕 明	岡富中学校2年生	吉 原 琴 海	聡明中学校2年生
三 浦 隆 聖	南中学校2年生	佐 藤 英 紀	高千穂中学校2年生
山 本 夢 弓	東海中学校2年生	山 本 鷹 輝	門川中学校2年生
佐 藤 桃 子	島野浦中学校2年生	荒 木 藍	五ヶ瀬中等教育学校2年生

※引率 柳瀬智文 延岡市教育委員会 学校教育課指導主事

第11回『野口賞』授与事業

《「奨励賞」が決まる!!》



第11回『野口賞』に8件の応募がありましたが、選考委員の皆様による慎重かつ厳正な審査の結果、「奨励賞」2件が決まりました。受賞者および受賞テーマ、受賞理由は次のとおりです。

1. バイオプロジェクト株式会社（宮崎市薫る坂2丁目）

代表取締役 前 田 昌 調 様

＜応募テーマ＞『ウイルスを抑える善玉細菌

（抗ウイルス）による疾病防除』

<受賞理由>

- ①自然界に存在するウイルスを抑制・分解する善玉細菌を確保し、安定した機能を発現する抗ウイルス細菌を生産する技術を開発したことは、新規性、独創性、技術性、社会性の点で高く評価する。
- ②家畜のウイルス感染力を強く抑制する効果は、肉乳牛、養豚、養蜂、養殖魚、観賞用魚として実用化されているが、一部の農家での利用・評価にとどまっているようなので、今後一層の普及を期待する。

2. 株式会社 興 電 舎 (延岡市浜町)

技術部製品開発課 課長 別 宮 庄 蔵 様
主任 井 上 真 二 様
亀 澤 朋 将 様

<応募テーマ> 『変圧器励磁突入電流抑制装置の開発』

<受賞理由>

- ①実際の回路でのデータ集積により発生したメカニズムを解明し、製品化したこと、従来の技術と比較して優れている点（操作の自動化、ランニングコストの低減など）を高く評価。
- ②電気の安定供給が、従来の個人技能を要する手動操作から自動化され、電化製品の機能が安定化される点が評価された。
- ③信頼性の確保など他の競合品に勝つための課題を解決して、自信を持って市場に売り出せるよう一層の努力と売上増を期待する。

「授賞式」は11月21日（月）ホテルメリージュ延岡にて行い、賞状と賞金(50万円)を授与します。

"校外授業『会社はどんなところ!!』"事業

延岡市内の中学生が市内の会社を訪問して、その会社の優れた技術とその技術をもとにつくられた製品が世の中でどのように役に立っているか、また、経営者等から「会社とは・・・」、「会社で働くということ」、「生徒たちへの助言」などの話を直接聞き、また、実際に工場で働いている人達に接することで「働くことの大切さ、大変さ、きびしさ・・・」を理解する機会として、これまでに18回実施しました。

本年度は19回目として去る9月30日（金）恒富中学校3年生（3クラス）92名の皆さんと先生が、旭化成展示センターと3つの会社（工場）を訪問して学習しました。訪問しました3つの会社（工場は）、旭化成せんい(株)ベンベルグ工場、旭有機材工業(株)延岡製造所、センコービジネスサポート(株)で、それぞれの会社の概要、製造されている製品とその製品が世の中でどう役に立っているか・・・について詳しく説明を受け、製造工程などを見学・学習しました。

中でも今回初めて訪問しましたセンコービジネスサポート(株)は、延岡市が天下町に開発した

「クレアパーク延岡工業団地」に昨年進出した会社で、企業ビジネスのサポート（給与計算、社会保険業務、広告作成・発送、各種研修企画・開催、各種調査・分析、電話でのアンケート調査、クレーム対応など）を中心とした事業を展開しています。生徒の皆さんはコールセンターで、「通信販売」を利用する注文者と受注者とに分かれて、予め用意されたマニュアルにしたがって電話とパソコンを使って体験しましたが、初めての体験を真剣かつ楽しく学習できたように思います。



また、旭化成展示センターでは、旭化成の創業者 野口遵翁と旭化成の歴史・延岡地区でつくられている製品について、ビデオと館内に展示してあるいろいろな製品を見て触れて学習しました。

生徒の皆さん、引率の先生から「それぞれの会社について大変有意義な学習ができたこと、そして、貴重な体験を通して仕事の大切さ、きびしさ・・・など、学校の授業では味わえないことを学習することができました。」などの感想が寄せられました。

本年度は、今後さらに3回計画・実施することになっています。

「野口遵翁とカザレー博士」顕彰祭

《－ 未来に語り継ぐ会 －》

10月5日（月）16時30分から、旭化成向陽クラブにおいて70名の皆さんの出席を得て盛大に行いました。

これは、野口遵翁が大正12年（1923年）、当時鉄道も通っていなかったこの延岡にカザレー式アンモニア合成工場を建設して、「工業都市 延岡」発展の基礎を築かれたこと。また、カザレー博士はこのアンモニア合成法の発明者で、運転開始に伴いイタリアから来延・滞在して直接指導にあたり、この年の10月5日、日本で初めての合成アンモニアの誕生に大変尽くされました。

そして、この合成アンモニアが誕生した10月5日は、延岡が近代工業都市へと発展していく“夜明け”となった記念すべき日として、二人の偉大な功績を顕彰してこの「顕彰祭」を一昨年より行っています。

「顕彰祭」では、出席者全員が二人の遺影の前で白菊を献花しました。引き続いて今回は、野口遵翁が設立した「（財）野口研究所」の前理事長 河野満男様が、『今に生きる野口遵翁』と題して講演をしました。野口遵翁の数々の業績を、写真や河野さんが実際に現地を見た状況などを紹介され、鹿児島県大口市にある曾木発電所（野口遵翁が九州で最初に建設）の遺構が地元の町おこしとして活かされていることなどを話されました。

そして、「野口遵の事業家としての精神は現在も各企業に脈々と受け継がれ、日本の化学工業の大きな流れになっている。」こと、「野口遵翁の考え方の根本にあったのは、世のため人のために尽くす。」ということで、時代は大きく変化しているがこの精神は現在の日本（特に産業人）にとって学ぶ点が多い・・・と締めくくられました。

野口遵顕彰会では、今後もこの記念すべき10月5日にこの「顕彰祭」を開催して、二人の偉業と功績を後世に伝えていきたいと考えています。



ご意見・ご提案について（お願い）

野口顕彰会活動や取組み事業に対するご意見・ご提案をお聞かせてください。事業計画や活動に生かしていきたいと思えます。下記事務局までお電話、あるいはFAXにてお気軽にお寄せください。よろしくお願いたします。

「賛助会員」募集について（お願い）

野口顕彰会では「賛助会員」を常時募集しています。当顕彰会の趣旨・目的にご賛同下さる皆様のご入会をどうぞよろしくお願いたします。

賛助会費は、

（法人）1口 1万円/年間 : （個人）1口 1,000円/年間

何口でも結構です。

ご入会を希望される方がいらっしゃいましたら、お手数ですが下記までご連絡いただきますようよろしくお願いたします。

●連絡先

野口 遵 顕彰会 事務局

〒882-0824

宮崎県延岡市中央通り3-5-1（延岡商工会議所内）

TEL (0982) 33-6666

FAX (0982) 33-6682



ホームページを開設しています。事業の実施状況をはじめ『最新情報』を掲載しています。どうぞアクセスしてみてください。

<ホームページアドレス> <http://www.wainet.ne.jp/~noguti-k>